

◎ ペレット関連情報

■栃木県小山市、ラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地のヨシなどを原料にペレット作りを計画。同市が 2016 年度より学識経験者や遊水地の周辺住民らによる委員会を発足させ、計画作りを推進。計画ではヨシ焼きに伴う約 25t/年のヨシの廃棄物、同 75t/年の街路樹の剪定枝等を原料に 80t 余りのペレットを作り、農村体験交流施設のボイラ浴槽や給湯、環境教育推進モデル校のストーブ、農業の温室の加温器が活用モデルとして挙げられている【東京新聞：2017/04/13】

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tochigi/list/201704/CK2017041302000166.html>

■燦キャピタルマネジメント（株）（大阪）、孫会社の SUN-BIOMASS 社が出資する TRANG-BIOMASS 社が、バイオマス燃料製造施設用地（8 万 m²）をタイ国トラン市に取得したと発表。今後、SUN-BIOMASS 社は日本のエネルギー商社の資本参加を受け入れる一方、TRANG-BIOMASS 社が各種許認可取得作業と SUN-BIOMASS 社を含む第三者からの出資やローンによる資金調達作業を行う。製造設備が完成次第、日本のエネルギー商社へバイオマス燃料を販売する方針【燦キャピタルマネジメント（株）：2017/04/19】

<http://sun-capitalmanagement.co.jp/2017/04/19/20170419/>

■福島県、いわき市小名浜でバイオマス発電事業を計画しているエア・ウォーター（株）（大阪）に対し、環境影響評価準備書に対する知事意見を通知。知事意見では、燃料に使用するヤシ殻や木質ペレットの基準、製造工程、混合比、熱量などに関する基本的な考え方を環境影響評価書に記載するよう求め、使用燃料が森林保全に配慮して製造されているかを視察するなどして確認することも盛り込んでいる。発電所の出力は約 7 万 5,000kW。2020 年度の運転開始予定【福島民報：2017/04/21】

<http://www.minpo.jp/news/detail/2017042140898>

■上伊那森林組合（長野）、昨年度（昨年 3 月～今年 2 月）の木質ペレット販売量が前年比 33%増の 2,655t と過去最高を更新。2004 年度の事業開始以来の売り上げが初めて 1 億円を突破。同県伊那市で開いた通常総代会で報告。森林組合によると、公共施設を中心に大型ペレットボイラが計 17 台あり、昨年度は伊那市高遠町の信州高遠温泉さくらの湯や、同市の学校給食センター、駒ヶ根市の保育園も新規導入。環境意識の高まりでペレットスト

ープの設置台数も増えているが、ボイラは使用量がより多く通年需要も生み出し、販売量を押し上げた形。今後 5 年間の運動方針にも木質バイオマス事業の強化を盛り込み、さらなる需要拡大を目指す【長野日報：2017/04/25】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/16163>

■（株）レノバ（東京）、静岡県御前崎港に国内最大級規模（出力 75,000kW）のバイオマス発電所を計画。地元企業 6 社が港内に所有する土地約 8ha を借りる。電力は FIT を利用して中部電力に売電し、中部地方に供給される。年間発電量は一般家庭 13 万世帯分に当たる 5 億 6,000 万 kWh。燃料は輸入木質ペレットで、年間 35 万 t を使う計算。4 月 25 日に県の環境影響評価審査会が御前崎市で開かれ、事業者が示した環境影響評価方法書に基づいて協議。レノバ側は御前崎港を選んだ理由を「船で燃料が輸入でき、水深があること、港が混んでいないこと」を挙げたが、委員の一人は「燃料に県産材を利用する努力を」と要請【中日新聞：2017/04/26】

<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20170426/CK2017042602000077.html>

■（株）IHI（東京）、マレーシアで EFB ペレット燃料製造の商用実証に取り組むことを決定。EFB は腐敗しやすく水分・灰分・塩分も多いため、その大部分は未利用なまま廃棄されているのが現状だった。同社はボイラメーカーとしての知見に基づき、微粉炭焚石炭火力発電所や CFBC（循環型常圧流動層）ボイラで使用可能なレベルまで改質し、安定した品質の EFB ペレットに変換する手法を確立。現在マレーシア国内でテストプラントを稼働させており、燃料サンプルの出荷を 2017 年度後半に開始する予定【(株)IHI :2017/04/26】

http://www.ihico.jp/ihico/all_news/2017/resources_energy_environment/2017-4-26/index.html

■環境省、エネルギー起源二酸化炭素の排出削減に最大の効果をもたらす「L2-Tech(エル・ツー・テック)=Leading & Low-carbon Technology（先導的低炭素技術先導的）」の専用 Web サイト「L2-Tech 情報プラットフォーム」を公開。「L2-Tech リスト」「L2-Tech 水準表」「L2-Tech 認証製品一覧」等の情報が検索可能。ユーザーは設備導入・更新の際に、メーカーは製品の PR ツールとして活用できる。「2016 年度冬版 L2-Tech 認証製品一覧」の中ではサンポット（株）の業務用・家庭用密閉式ペレットストーブが 4 種類紹介されている。同社は「L2-Tech 2016 年度夏」の時点でも 3 種類のペレットストーブで認証を取得しており、早期から積極的に参加している【環境省：2017/04/28、サンポット（株）】

<http://www.env.go.jp/press/103998.html>

<http://www.sunpot.co.jp/news/?pageno=2>

■飛騨高山市国府町の「四十八滝温泉しぶきの湯遊湯館」に「飛騨高山しぶきの湯バイオ

マス発電所」が竣工し、国内初の FIT 制度を利用した小型高効率木質ペレットガス化熱電併給を開始。4 月 28 日に竣工式。同発電所はブルクハルト社（ドイツ）製システムを採用しており、設備設計・施工は（株）洗陽電機（兵庫）、建設工事は飛騨高山グリーンヒート合同会社（岐阜）が担当。燃料の木質ペレットの供給は、木質燃料（株）（岐阜）が行う。定格出力 165kW。発電効率は 30%で、熱利用も含めると総合エネルギー効率は最大で 75%。発電の際に生じた熱を遊湯館に販売することにより、灯油の使用を約 124kl/年削減可能。年間発電量は約 126 万 kWh、うち送電量は約 120 万 kWh の見込み。発電した電力は FIT を通じて中部電力（株）（愛知）に全量売電する。既に 4 月 6 日から売電を始めており、5 月 8 日から本格稼働する。総事業費は約 2 億円。国内での同システムの導入は群馬県上野村に続いて 2 例目【岐阜新聞：2017/04/29、PRTIMES:2017/05/01】

http://www.gifu-np.co.jp/news/kennai/20170429/201704290921_29542.shtml

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000006.000025041.html>

■阪和興業（株）（大阪）、タイ国の Siam Biomass Product 社（以下、SBP）と業務提携の覚書を締結。Siam Forest Management 社が FSC 認証済ペレットやチップの原料を供給し、SBP が FSC 認証済ペレットや木質チップの製造・保管・物集を手掛け、阪和興業が日本や韓国の発電所との長期契約を締結し、タイから輸出する。阪和興業は昨年実績で年間十数万 t の PKS 輸入商社でもあるが、益々増加する日本の輸入バイオマス燃料需要を PKS だけでは賄いきれないと考え、また 2020 年以降のバイオマス発電所の日本のペレット需要が約 300 万～500 万 MT /年に成長するとの予想から SBP と提携。同社は既に、豊前ニューエナジー合同会社（福岡）が建設する豊前バイオマス発電所（福岡県豊前市、2019 年 10 月運開予定）の燃料受入れを担当する豊前バイオマスセンター（株）（福岡）との間で 10 年間のバイオマス燃料供給契約を締結している【阪和興業（株）：2017/04/25、OSR No.274：2017/04/26】

<http://www.hanwa.co.jp/ms/data/pdf/news/20170425.pdf>

■国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている、富山県高岡市の山町筋の空き家を改修した交流商業施設「山町ヴァレー」が、同市小馬出町でオープン（4 月 27 日）。施設所有者は第三セクター「まちづくり会社・末広開発」、施設運営は民間会社「町衆高岡」。昭和初期に建築された木造 3 階建ての商家「旧谷道家」の 1 階部分と蔵 5 棟などを当時の姿を残しながら改修。同日からラーメン店や雑貨店が開店。ヨガ教室とペレットストーブ販売店、飲食店は準備を進めており、蔵 3 棟はテナントを募集中。5 月以降蔵の屋根や外観を修繕、今秋に全店舗でグランドオープン【中日新聞：2017/04/28】

<http://www.chunichi.co.jp/article/toyama/20170428/CK2017042802000035.html>

※ OSR・・・バイオマス・再可エネ等の情報誌「オンサイト・レポート」の略